



事業実施報告書【講座名：集落活性化の推進（地域リーダーの育成）】（官民一体の未来創造学部）

- 日 時：令和元年12月15日（日） 午後1：30～16：00
○場 所：北広島町役場 豊平地域ふれあい健康館
○参加人数：21名
○内 容：第3回「令和時代に希望をもたらすイノベーションとは？」
講師 佐藤 真一氏（（株）バリュー・クリエーション・サービス 代表取締役）

（内容の一部）

“共創思考”のススメ ～在りたい姿を実現する地域リーダー像～

完璧なリーダー像はいらない？ 共創できる仲間とチームを作る！

リーダーとは、トップではなく、役割を持つ人。

目標を設定し、仲間と目標を強く共有できる人。完璧じゃないことを認め、互いの弱さを認め向き合うことで真の仲間をつくる。

得意なことがあって、ぼんやりとでもやりたいことがある中で、足りないものを集められる人。足りないものが分からない人は、リーダーではなく、得意なことを生かすポジションについての方がよい。

地方に必要な価値創造 ～“難しい”を“新しい”に変えるバリュー・イノベーション

ローカルの価値を最大化するポイント アイデアを“企画”から“商品”へ

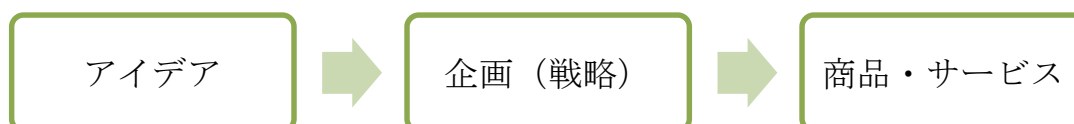
過疎化という難しい課題を解決するには、革新的なイノベーションが必要。

地域資源の“顕在価値”ではなく、“潜在価値”を表面化することが大事。

地域資源の潜在価値を貨幣的価値に変換する。

地方で圧倒的に不足している能力は、アイデアを企画する能力。

企むことの本質は「やられた」＝「ワクワク・ドキドキ」×「なるほど」



企画を立てる時は物事の見方を最大限に工夫してみる。

（視点を変えて、距離を置いて、メガネをかけて、非常識に → 物事を見る）

2段階くらい飛んだ事を考えてみることも大切。今はそんなことが実現する時代。

【参加者の声】

- ・ もっと深掘りしたい、一步踏み出す方を集めたい
- ・ あきらめない心を思い出しました。
- ・ ワクワクするような話の進め方が良かった。
- ・ 10年後を考えるというのがとても良かったです。少し未来を考えることでできることが見えるような気がします。
- ・ ありがたい姿、地域資源、考えなければと思う今日のお話でした。
- ・ 自分の考えとは違う発想ができる時間になりました。
- ・ プラスに考えるようになった。
- ・ 地域にある資源をいかに生かすか少し勉強になりました。
- ・ 視野がとても広がった。型にはまったらダメだと再認識

【写真】

